

○3か月分のおむつ購入。おむつを使う者皆、自分で倉庫まで運ぶこと。喜んで運びました。



○畑で初めて大きな品種のブドウが出来た喜びの顔

○Rosalia ちゃん、学校に行かれず、いつも機嫌悪くしていたので、職員が毎日近くの地域の図書館に行って、1時間ほどおもちゃなど使っての特別な対応をするようになってやっと落ち着きました。彼女はまだ学校に行けるほど行動の制御ができないので。

ここ BOLIVIA で少しずつですが寄付してくださる方が増えていることを皆で感謝しています。

それから、年末にお知らせしたクリスマスのパネトンは全部売り、もっと売れたかったのですがもう在庫がないといわれました。私たちはあまり商売が上手でなく安く売りすぎたみたいです。でも買う方は喜んで買ってくれましたよ。

ウクライナの戦争、皆で心を痛めて祈っています。それではまた。



○Jose が4月1日に胆石の手術をしました。たくさんの小石で、びっくりしました。ただ医学の進歩で傷口は小さく次の日には退院でき、その後も元気です。



カーニバルの準備をしているところ、お祝い。

2022年4月11日
昭子さんよりメール

エルピス会便り

新緑を眺めながら鉛筆を握り、ボリビア「聖マルティンの家」の事、日本でご支援下さっている皆様のことをずっと考えていました。

そして1999年に初めて出したエルピス会便り1号から最新の57号までを読み返してみました。その間23年…なんと多くのドラマと大きな愛でいっぱいだろうか！と、改めて驚かされました。

「聖マルティンの家」の利用者さん達の祈りと頑張り、そして、それに応えて下さる日本の多くの方の愛と祈り…

昨今の暗いニュースが多い中で、エルピス会便りの中には希望(エルピス:ギリシャ語)の光が沢山でした。有難うございます。心から感謝の気持ちを送らせていただきます。

2022年6月吉日 特定非営利活動法人エルピス会 俵 靖子



聖マルティンの塀の絵は、当時の利用者さんたちも参加して手形・足形も使って描かれています。色塗りも手伝って貰いながら…最後はプロの方に。